



えほんの紹介

『ティッチ』

パット・ハッチンス さく・え いいい ももこ やく 福音館書店



ティッチは小さな男の子です。兄さんのピートと姉さんのメアリーは大きな自転車をもっているのに、ティッチのは小さな三輪車です。ピートとメアリーのたこは木や屋根より高く上がるのに、ティッチの風車は手の中でぐるぐる回るだけ。いつもティッチのはちっぽけなものばかりです。でも、ある日、ピートのシャベルでメアリーの植木鉢にまいたティッチの小さな種は、やがて芽を出し、ぐんぐん、ぐんぐん大きくなりました！見てください、ティッチの誇らしげな顔を！ 幼い人たちへの応援歌のような絵本です。作者のあたたかい眼ざしが感じられます。

『げんきなマドレーヌ』

ルドウィッヒ・ベームルマンズ 作・画 瀬田貞二 訳 福音館書店



パリのつたのからんだ古いお屋敷(寄宿舎)に、12人の女の子たちが住んでいました。先生はミス・クラベルです。一番小さいマドレーヌは元気でこわいものなしです。ねずみだって、動物園のとらだってへっちゃら！

ところがある晩、マドレーヌが急病になり救急車で病院へ！すぐに盲腸炎の手術を受けました。十日後、みんなでおそろおそろお見舞いに行くと、なんと病室にはお花やおもちゃやキャンディーがいっぱい！それ

以上に一番たまげたのは…何だったでしょう？

ユーモアのある短い文と絵が、ストーリーや背景をたっぷり物語っています。表紙のエッフェル塔初め絵本の中に描かれたパリの街や建物をおたのしみください。

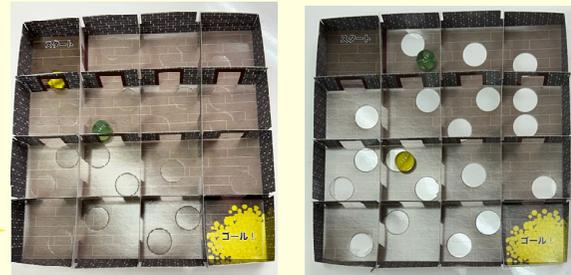
小さなおともだち “待っていたのは…どっち？”

院内保育の紙工作の日。迷路になっているところに、ビー玉を穴に落とさずにゴールまでころがしていく工作がありました。

教材を病室のS君に持っていくと、「おれ、これを待っていたんだあ。保育園でも待っていたんだあ。」と大興奮して喜んでいました。「よかった、この工作をそんなに待っていたんだね。」と見ていると、S君はビー玉を手にとり、にこにこしてみとれて

います。「えーっ、待っていたのはビー玉の方？

迷路工作？どっち？」年長さんは興味がたくさん増えてきますね。



夏のクイズ

夏のあなあけ・しりとりクイズです。

- ① ス○カ⇒○ブ○ムシ⇒○ヤーベ○ト⇒○ン○⇒○ウシ⇒○カケ○なび⇒○ーチ⇒○ェリー⇒○んご



- ② アス○ラガ○⇒ス○カ⇒○キ⇒○ム○⇒チョコ○レー○⇒○うも○こ○⇒○ヤケ⇒○ーキ



季節のわらべうた  
♪ どちらん かっちゃん かじやのこ  
はだかで とびだす ふろやのこ  
♪

リズムミカルなゆかいなわらべ歌です。加治屋さんのものをたたくリズムで、手やひざを打ちながら朗らかな気持ちで歌いましょう。ふろやのこをいろいろなお店の名前をいれて歌うと楽しいですよ。(花や・パンや・そばや・魚や・くつや・おもちゃや・などなど…)